

大地震 (1974)

EARTHQUAKE

メディア 映画
ジャンル パニック
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 122分
初公開日 1974/12/14
公開情報 Uni=C I C

【キャッチコピー】

あなたは震動する迫真の驚異！
特殊音響装置＝センサラウンド方式上映
ロサンゼルスを襲う壊滅的大地震を背景に描く現代のパニック！！

【解説】

1970年代にロサンゼルスで実際に起こった大地震を基に、地震による災害に見舞われ大混乱に陥っていくロサンゼルス市民とその凄まじさを描いたパニック大作。

建設会社の重役を務めるスチュワートは、妻でその会社の社長令嬢でもあるレミーとの間に深い溝ができ、離婚もやむなしの状態になっていた。しかも事故で死んだ技師の未亡人デニスとその息子の面倒を見ていることがレミーの嫉妬を誘っている。そんな中、彼らの住むロサンゼルスに軽度の地震が発生する。地震研究所が調査した結果、近く稀に見る大地震が起これと予測。はたして間もなく、超大型の地震がロサンゼルスを襲った。建物は崩れ、火災や洪水も発生、街は大パニックとなり、人々は次々に命を落としていく。一方、会社ビルにいたスチュワートは二次災害に遭いながらも打開策に奔走していくのだが…。

タイトルが全てを語る好見本のパニック映画。水増し的なメロドラマは退屈なので、主眼はひたすら地震による災害シーンになる。ただしアカデミーを受賞した特撮も、劇場では立体音響センサラウンド（ユニヴァーサルが開発した特殊スピーカーによるシステムで重低音の迫力が話題を呼んだが、コストがかかるためこの後「ミッドウェイ」「ジェット・ローラー・コースター」「宇宙空母ギャラクティカ」に使用されただけで消えてしまった）との相乗効果でかなりの物だったが、TV上ではインパクトはかなり減ってしまう。米TV放映時に、地震の最中に空港に着陸する旅客機等数十分のシーンが新たに撮影・追加され、日本でもそのヴァージョンはTV放映されている。酒場の酔っ払いでウォルター・マッソーがゲスト出演している事は有名。

【クレジット】

監督	マーク・ロブソン	Mark Robson
製作	マーク・ロブソン	Mark Robson
製作総指揮	ジェニングス・ラング	Jennings Lang
脚本	マリオ・プーゾ ジョージ・フォックス	Mario Puzo George Fox
撮影	フィリップ・H・ラスロップ	Philip H. Lathrop
特撮	クリフォード・スタイン	Clifford Stine
特殊効果	アルバート・ホイットロック	Albert Whitlock
プロダクションデザイン	アレクサンダー・ゴリツェン	Alexander Golitzen

美術	E・プレストン・エイムス	E. Preston Ames		
編集	ドロシー・スペンサー	Dorothy Spencer		
音楽	ジョン・ウィリアムズ	John Williams		
出演	チャールトン・ヘストン	Charlton Heston	スチュワート・グラフ	
	エヴァ・ガードナー	Ava Gardner	レミー・グラフ	
	ジュヌヴィエーヴ・ビジョルド	Genevieve Bujold	デニース・マーシャル	
	ジョージ・ケネディ	George Kennedy	ルー・スレイド	
	リチャード・ラウンドトゥリー	Richard Roundtree	マイルズ・クエイド	
	ローン・グリーン	Lorne Greene	サム・ロイス	
	バリー・サリヴァン	Barry Sullivan	Dr. ウィリス・ストックル	
	マージョー・ゴートナー	Marjoe Gortner	ジョディ	
	ロイド・ノーラン	Lloyd Nolan	Dr. ジェームズ・ヴァンス	
	ヴィクトリア・プリンシパル	Victoria Principal	ローザ・アミシ	
	モニカ・ルイス	Monica Lewis	バーバラ	
	ペドロ・アルメンダリス・Jr	Pedro Armendariz, Jr.	チャヴェス	
	タイガー・ウィリアムズ	Tiger Williams	コリー・マーシャル	
	ジョン・ランドルフ	John Randolph	市長	
	ウォルター・マツチャンスカヤスキー	Walter Matuschanskayasky	酔っぱらい	(ウォルター・マツソー)
	ロイド・ガフ	Lloyd Gough	ビル・キャメロン	
ドナルド・モファット	Donald Moffat	Dr. ハーヴェイ・ジョンソン		
キップ・ニーヴン	Kip Niven	ウォルター・ラッセル		
スコット・ハイランズ	Scott Hylands			
ジェシー・ヴィント	Jesse Vint			
アラン・ヴィント	Alan Vint			